



かまがわ

第25号
2018.9



特集

肺がん診療とともに進歩する 気管支鏡検査

もくじ

1. 特集
肺がん診療とともに進歩する気管支鏡検査
2. 診療科・中央部門紹介
リハビリテーション科
3. トピックス
 - ・京都府立医科大学附属病院 DMAT 2度目の災害派遣を行いました。
 - ・京都府周産期医療体制強化に関する協定書を締結しました。
 - ・ご寄附をいただいた松井秀文氏へ感謝状を贈呈しました。
4. 健康・予防の豆知識
 - ・栄養 ・臨床検査 ・くすり ・病気
5. 病院からのお知らせ

基本方針

- 高度で安全な医療を提供します。
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん本位の医療を提供します。
- すべての医療人は互いに連携し、チーム医療を推進します。
- 新しい医療を開発するとともに、未来を担う医療人を育成します。
- 京都府における基幹病院として、地域医療に貢献します。

患者さんの権利

- 個人として尊重され、平等に良質な医療を受けることができます。
- わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。
- 十分な説明を受けた上で、自らの意思で治療方法等を決定することができます。
- 医療に関する個人情報やプライバシーは、保護されます。
- 診療録等に記録された自己の診療内容について、情報提供を受けることができます。
- セカンドオピニオン（他の医療機関等の意見）を希望される場合は、紹介を受けることができます。

肺がん診療とともに進歩する気管支鏡検査

肺がんの死亡率は男性で1位、女性で2位、罹患（^{りかん}新たにがんと診断されること）率は、男性で2位、女性で4位と上位を占めています。（部位別の最新がん統計、国立がん研究センター）進行肺がんの治療の特徴は、個々の患者さんのがんの遺伝子異常を標的にすることで効果を示す分子標的治療薬や、がんへの免疫にブレーキがかかるのを防ぐ免疫チェックポイント阻害薬など、患者さん1人ひとりにあう治療を選ぶ、個別化医療が日々進歩している点です。

患者さんにこれらの治療を届けるためには、まずは気管支鏡検査で正しい診断をつけることが必要です。

これからの気管支鏡検査に求められること

気管支鏡検査には、今後はただ高精度であるだけでなく、特に肺がんの患者さんでは、がんに関するさまざまな異常を調べるために、より大きな検体を採取することも要求されます。

また、治療が効かなくなった原因である遺伝子異常を調べて次の治療を行うため、再び検査を受けて頂く機会が増えており、より楽に検査を受けて頂くための工夫が必要です。

この特集では、呼吸器内科で行っている気管支鏡検査がどんな検査なのか、病院理念である世界トップレベルの医療を地域の皆さんに届けるための取り組み、導入した最新機器についてご紹介します。



呼吸器内科学教室 教室員

気管支鏡検査 Q&A

Q1 気管支鏡はどんな器械ですか？

A. 直径4～6mmの細くて柔らかい管で、気管支の中を観察する器械です。胃カメラとよく似た構造ですが、胃カメラよりも細くできています。

Q2 気管支鏡検査はどんな検査ですか？

A. 肺または気管支など呼吸器の病気を診断するために、主に口からのどを通過して、気管や気管支の中に挿入して組織や細胞などの検体を採取します。患者さんは眠った状態で検査を行い、30分～1時間程度で終わります。

Q3 通院でできますか？

A. 当院ではより安全に実施するため検査前日入院、翌日退院の2泊3日で実施しています。

Q4 どんな症状がある時、どんな病気が疑われる時に気管支鏡検査を受ける必要がありますか？

A. 次のような症状、所見があった時などに医師から気管支鏡検査を勧められます。

- ・胸部レントゲン写真やCT写真で肺に異常陰影がみられる場合
- ・痰に血液が混じる、喀痰検査で癌を疑う所見がみられる場合



つらくない気管支鏡検査を目指して

これまでも当院では鎮静剤（眠り薬）^{ちんせいざい}を点滴して検査中に眠りについて頂くことで、検査の苦しみの軽減をはかっておりましたが、院内アンケートで、“つらかった、二度と検査を受けたくない”という声を頂くことがよくありました。

気管支鏡検査の苦しさは世界共通で、日本および海外の最新のガイドラインでは、全身麻酔にも使用される鎮痛剤（痛みどめ）と鎮静剤を併用することが推奨されています。

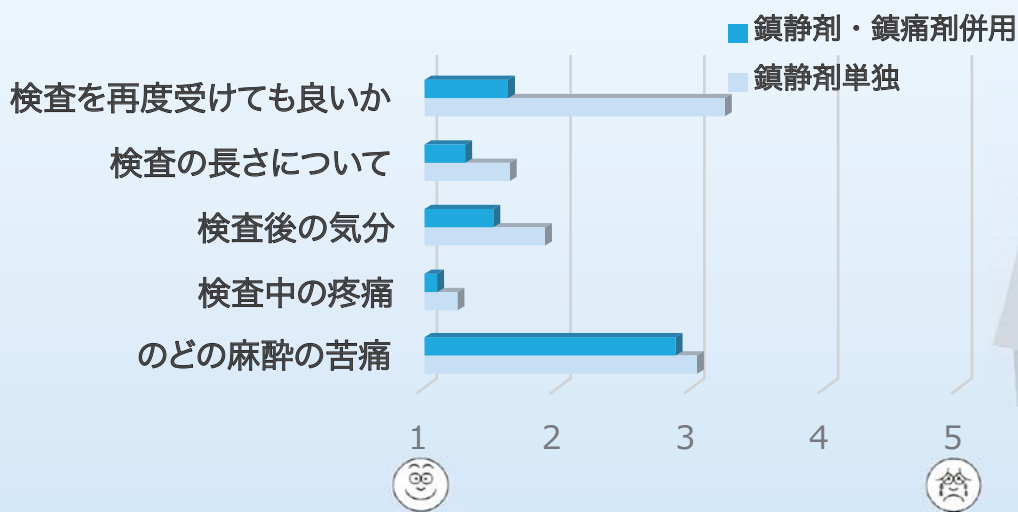
当院では、2017年度より、希望された患者さんに鎮静剤と鎮痛剤の併用を開始したところ、“思ったより楽だった、また検査を受けてもよい”という声が大半になりました。

また、“検査前ののどの麻酔が^{ふんむ}つらかった”という声が多かったため、カメラからの噴霧麻酔で代用することで、検査中の咳を減らす工夫も行っております。

気管支鏡検査の苦痛度についての院内アンケート

(2017年4月～2018年2月実施)

1～5点で各項目を評価。低い点数であるほど“検査が楽であること”を示します

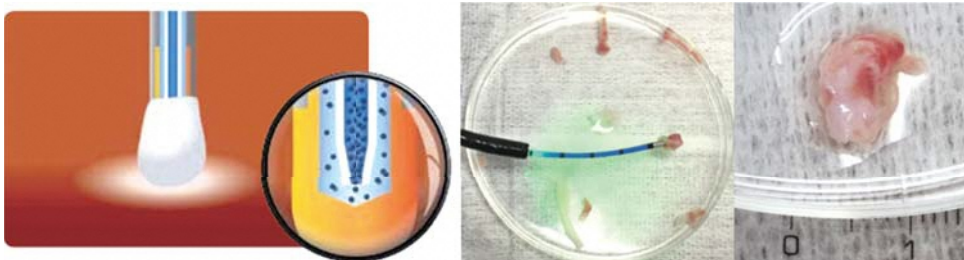


クライオバイオプシー（凍結生検）

クライオプローブは2017年3月に日本で医療機器承認された新しい器具で、当院では同年8月に関西で初めて導入しました。クライオプローブは先端が-45℃に凍結してアイスボールとなり、これまでよりも大きな組織を採取することができます。従来は鉗子（かんし）と呼ばれる器具で、5回以上にわたって、マジックハンドのように組織をつまみ取っておりましたが、細胞が潰れてしまう上に、“ゴマ粒”程度で小さいことが問題でした。一方、クライオプローブでは、鉗子の面積5倍以上、体積約20倍の“あずき”大の、細胞が潰れていないきれいな組織が1度で採取できるので、非常に効率的です。



汎用凍結手術ユニット ERBECRYO2
写真：株式会社 AMCO より提供



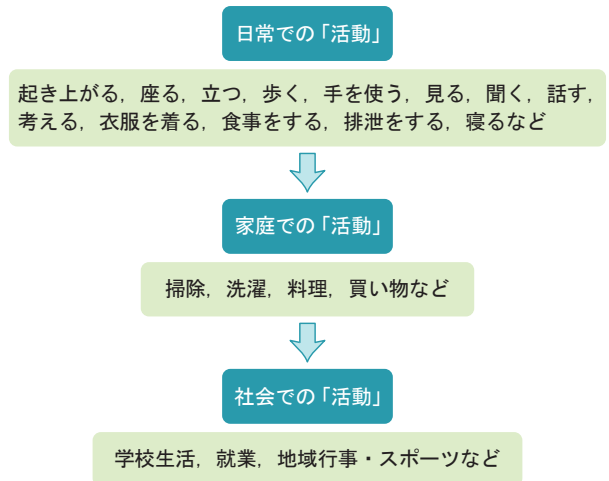
クライオプローブで採取できる検体
左図：株式会社 AMCO より提供

超高齢社会となった現在、リハビリテーション医学・医療は、小児疾患や切断・骨折・^{せきずい}脊髄損傷、中枢神経・^{せつしよくえんげいしょうがい}運動器・循環器・呼吸器・腎臓・神経筋疾患、関節リウマチ、摂食嚥下障害、がんに加え、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームなど、ほぼ全診療科に関係する疾患・障害・病態を扱う領域になっています。

当科では、患者さんの「活動」に注目しています。日常生活の「活動」としてあげられる、起き上がる、座る、立つ、歩く、手を使う、見る、聞く、話す、考える、服を着る、食事をする、排泄をする、寝る、などは、有機的に組み合わさることにより、家庭での活動、学校・職場・スポーツなどの社会活動につながっていきます。

リハビリテーション科は、本年から始まった専門医教育における19基本診療科のひとつになっています。リハビリテーション科専門医を中心としたリハビリテーション医療チームで、様々な疾患や外傷、およびその治療の過程で生じた「活動」に制限のある外来・入院の患者さんを診療しています。活動制限の原因の診断、リスク管理、訓練を阻害する^{どうつう けいしゆく}疼痛や痙縮などの低減、義肢・装具の製作、理学・作業・言語聴覚療法の処方などを行います。経過の中で適時、治療内容を吟味するとともに、患者・家族への今後の見通しなどの説明も行っています。

今後も、各診療科医師、看護師、療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカー、義肢装具士などと医療チームを組んで、質の高いリハビリテーション医療を提供してまいります。



リハビリテーション医学教室 教室員



リハビリテーション科入院患者さんの回診



京都府立医科大学附属病院 DMAT 2度目の災害派遣を行いました

6月18日に発生した大阪北部地震の支援のため、京都府からDMAT（災害派遣医療チーム）の派遣要請がありました。学長・病院長の指示のもと、医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名が高槻市の三島救命救急センター（三島医療圏災害対策本部）へ出動しました。主に災害本部内での支援活動を行い、先日行われた活動の振り返りでも、高い評価をいただきました。



京都府周産期医療体制強化に関する協定書を締結しました

京都府立医科大学附属病院では、京都府の周産期医療体制強化のため、平成28～29年度にかけてMFICU（母体・胎児集中治療室）の整備等を行ってきました。更なる周産期医療体制強化のため、平成30年6月5日に、当院、京都府、京都第一赤十字病院、京都大学医学部附属病院が京都府庁で協定を締結しました。

今回の協定では、京都府立医科大学附属病院については、周産期医療の総合センター機能を持てるよう、施設整備を進めていく他、心臓、循環器分野など高度な専門医療もお互いに各病院で連携していくこととなりました。



左から、京都第一赤十字病院池田病院長、京都府西脇知事、当院北脇病院長、京都大学医学部附属病院稲垣病院長



ご寄附をいただいた松井秀文氏へ感謝状を贈呈しました



左から、藤井事務部長、北脇病院長、松井秀文氏、細井小児科診療部長

当院では、患者さんへの更なるサービスの向上、高度医療の提供、がん最先端医療の充実等に資するため「京都府立医大病院募金（ご寄附）」を設置しています。このたび、この募金に多大なご寄附をいただいた松井秀文氏に北脇病院長から感謝状を贈呈しました。松井氏は「病気の子どもたちのために役立ててほしい」と話されました。なお、募金のリーフレットは1階総合案内に設置しております。

健康・予防の豆知識

栄養の
豆知識

栄養管理部 連載企画 第10回

食事から摂る食塩の減らし方 (3) ～外食編～

外食のメニューは家庭料理に比べてしっかり味付けされているため、気が付かないうちに食塩をたくさん摂取しがちです。満足感を得ながら、摂取する食塩量を減らす方法を紹介합니다。目標とする食塩摂取量は1食あたり2～3g程度です。

摂取する食塩量を抑えるポイント

- ①みそ汁、スープなどの汁物は汁を半分残しましょう ⇒おおよそ **0.5g 減**
- ②めん類の汁は残しましょう ⇒おおよそ **2g 減**
- ③定食などについてくる漬物は少量でも食塩量が多いため、残しましょう ⇒おおよそ **1g 減**
- ④主食がご飯もしくはパンなど選択できる場合はご飯にしましょう ⇒おおよそ **0.7g 減**
- ⑤すでに味付けされているものは、味付けを確かめてから調味料の追加が必要か判断しましょう



臨床検査の
豆知識

臨床検査部 連載企画 第16回

はく息で判定、ピロリ菌の検査



- ・ピロリ菌は慢性胃炎、胃潰瘍、胃がんなどの原因になっていることが明らかにされています。
- ・ピロリ菌の検査は、いくつかの種類がありますが、生理検査室では患者さんへの負担が少なく、迅速で感度の高い**尿素呼気試験**という方法を実施しています。
- ・空腹時にお薬を服用していただき、その前後に呼気（はく息）を採取してピロリ菌の有無を検査いたします。



【注意点】

検査前6時間以上の絶食・禁煙が必要です。(検査1時間前からは水分摂取もできません。)



くすりの 豆知識

薬剤部 連載企画 第21回

風邪は抗菌薬で治る？



風邪をひくと、くしゃみ、鼻水、せき、たん、のどの痛み、発熱などの症状が起こります。この風邪の症状は、ウイルスによって引き起こされています。風邪は自身の免疫で治る病気であり、風邪の際に処方されるお薬は、これらの症状を和らげるものです。

風邪に抗菌薬は効きません

抗菌薬は、細菌が原因となる感染症には効果がありますが、風邪のようなウイルス性疾患には効果がありません。それだけでなく、不適切、不十分な飲み方をすると、抗菌薬が効かない薬剤耐性菌（AMR）が生まれる原因になってしまふことがあります。もし、AMRによる感染症になると治りが悪くなることや、ときには重症化してしまふことがあります。



抗菌薬を正しく・大切に使用することから

G7 伊勢志摩サミット（2016年）では、世界の国々と共同してAMR対策に取り組むことを盛り込んだ伊勢志摩首脳宣言が発出されました。当院においても、抗菌薬を正しく・大切に使うことで、AMR対策の取り組みを始めています。抗菌薬やAMRに関してご質問がありましたら、医師、薬剤師までお尋ね下さい。



病気の 豆知識

連載企画 第11回

紫外線で生じる皮膚障害

太陽光の中には、紫外線という人体にとって有害な電磁波が含まれています。紫外線を浴びた細胞は、DNA損傷を受けたり、突然変異を起こしたりしてがん細胞になってしまふことがあります。また、シミ、シワといった老化の原因にもなります。これらの紫外線によるダメージを防ぐため、ヒトの皮膚には茶色いメラニン色素をつくるメラノサイトという細胞を持っています。メラニン色素は、紫外線によるDNA損傷を防御する役目があります。紫外線を浴びるとメラニン色素が増えて肌が茶色くなります。これは紫外線に対する生体の大事な防御反応なのです。

春先から夏にかけて、日差しがきつくなりますが、同時に人体に有害な紫外線もきつくなります。老化や発がんを防ぐため、外出時はサンスクリーン剤や帽子、日傘の使用を心がけましょう。



紫外線によって生じた皮膚がん（日光角化症）の例（青矢印）

病院からのお知らせ

(1) イベント・講座等開催予定

事項	開催日時	内容	申し込み先・問合せ先
1 ひだまりサロン ①「陽子線治療について」 ②「がんの免疫療法について」 ③「がん患者の就労支援について」 ひだまりサロン For Kids ④「小児のお薬について」	① 9月5日(水) 13:30~14:30 ② 11月14日(水) 13:30~14:30 ③ 12月5日(水) 13:30~14:30 ④ 10月3日(水) 13:30~14:30	患者さんやご家族が体験を語り合い、情報を交換する場です。 講師：①放射線科医師 相部 則博 ②消化器内科医師 石川 剛 ③向立支援促進員 埜村 順子 ④薬剤師 浅葉 有紀	がん相談支援センター TEL: 075-251-5283 ※ひだまりサロン For Kids は TEL: 075-251-5605
	会場 京都府立医科大学外来診療棟1階 カンファレンスルーム	申込み先 なし 参加申込不要	定員 20名
2 ①京都府立医科大学公開講座(看護学科) 「がんサバイバースhipと暮らしのサポート」 ②京都府立医科大学公開講座(医学科) 「心臓・腎臓の最新治療」	① 10月6日(土) 10:00~12:00 ② 10月6日(土) 14:00~16:00	①本学教員ほかによるがんサバイバースhipと暮らしのサポートに関する講演・手話通訳・要約筆記:有(要予約) ②本学教員による心臓と腎臓の最新治療に関する講演・手話通訳・要約筆記:有(要予約) 今年度は医学科と看護学科の公開講座を同日開催します。また、当日は、オープンホスピタルも同時開催されます。	総務課総務担当 住所: 下記(附属病院の住所)のとおりに TEL: 075-251-5210 FAX: 075-211-7093 Eメール: learning@koto.kpu-m.ac.jp
	会場 ①京都府立医科大学 基礎医学学舎第1講義室 ②京都府立医科大学 基礎医学学舎第1・第2講義室	申込み先 9月26日まで ①100名 ②200名	申込方法 FAX はがき Eメール(先着順)
3 みんなでチェック! 吸入の会	10月16日(火) 15:00~16:00	気管支喘息、肺気腫などで、吸入療法を受けている方を対象とした吸入指導の会です。	呼吸器内科 TEL: 075-251-5513
4 第27回 歯の健康講座	10月20日(土) 受付: 13:30~ 講演: 14:00~15:00	・講演 ・歯周病チェック(講演終了後、希望者のみ) ・相談コーナー ・歯ブラシ等の清掃グッズの展示	歯科 TEL: 075-251-5043 FAX: 075-251-5045
5 ①近視進行予防トライアル説明会 ②近視矯正手術 LASIK 説明会 ③第2回眼科市民講座「角膜と眼形成」	10月20日(土) ① 13:00~13:30 ② 13:30~14:00 ③ 14:00~16:00	①小学生を対象にした近視進行予防(多焦点コンタクトレンズ)の臨床研究説明会です。近視進行予防にご興味のある小学生の参加をお待ちしています。 ②近視手術レーシック普及のため、眼科学教室が開催している一般市民向け公開講座 ③患者さんへの情報提供のため年4回眼科が開催している一般市民向け公開講座。今回のテーマは「角膜と眼形成」	眼科学教室 TEL: 075-251-5578
会場 京都府立医科大学基礎医学学舎1階	申込み先 100名	申込方法 なし 参加申込不要	料金 無料
会場 京都府立医科大学北臨床講義室	申込み先 なし 参加申込不要	申込方法 なし 当日受付	料金 無料

(2) その他のお知らせ

事項	相談日時	内容	問合せ先
肝疾患相談センターのご案内	・毎週火曜日及び木曜日 10:00~12:00 / 13:00~16:00 ・毎週水曜日 13:00~16:00	肝炎患者さんやそのご家族をはじめ、肝疾患に関する不安や疑問を持つ方からの様々なご相談をお受けしています。当院消化器内科の担当者が相談に応じ、患者さんやご家族等の皆さんの精神的負担の軽減を図ります。(相談無料)	肝疾患相談センター 電話: 075-251-5171

京都府立医大病院 オープンホスピタル 2018

10月6日(土)

時間 午前10時~午後4時 場所 当院外来診療棟など



(写真は昨年開催時のものです)



大学公開講座も同時開催!
病院探検や病院お仕事体験等、
盛りだくさん!

休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

初診受付時間 午前8時45分から午前11時まで

※再診受付時間は、各診療科にお問い合わせください。

敷地内は全面禁煙としております。ご理解とご協力をお願いします。

次回
平成31年1月
発行予定



京都府立医科大学附属病院
University Hospital Kyoto Prefectural University of Medicine

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465
電話: 075-251-5111 (代表)
HP: <http://www.h.kpu-m.ac.jp>